

平成 29 年度

## 中学生・高校生との交流会

中学生や高校生が日頃学校や日常生活の中で考えている事柄や問題について、県教育委員会の職員とひざを交えて自由な意見交換を行う「中学生・高校生との交流会」を県内6会場で開催しました。出席者はそれぞれ中学生・高校生が20名～50名程度、県・市教育委員会職員、参加校職員です。各会場とも、設定したテーマについて、教育委員会職員も交え、中学生・高校生が話し合いました。

### 1 会場等

教育事務所	会場	参加校	開催日
葛南	浦安市文化会館	浦安高校、(浦安市立)浦安中学校、堀江中学校、見明川中学校、入船中学校、富岡中学校、美浜中学校、日の出中学校、明海中学校、高洲中学校	7/20(木)
東葛飾	県立野田中央高等学校	野田中央高校、清水高校、関宿高校、(野田市立)第一中学校、第二中学校、東部中学校、南部中学校、北部中学校、福田中学校、川間中学校、岩名中学校、木間ヶ瀬中学校、二川中学校、関宿中学校	8/3(木)
南房総	県立姉崎高等学校	姉崎高校、(市原市立)姉崎中学校、有秋中学校、姉崎東中学校、千種中学校	8/4(金)
北総	県立銚子高等学校	県立銚子高校、(銚子市立)第一中学校、第二中学校、第三中学校、第五中学校、第六中学校、第七中学校、銚子中学校	8/4(金)
	県立成田西陵高等学校	成田西陵高校、(成田市立)成田中学校、西中学校、中台中学校、玉造中学校、(栄町立)栄中学校	8/7(月)
東上総	県立大多喜高等学校	大多喜高校、(大多喜町立)西中学校、大多喜中学校	8/8(火)

### 2 今年の主なテーマ

- 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」を通じたおもてなし
- 障がいのある人もない人も生きやすい社会にしていけるための工夫 など

### 3 交流会の特徴

- 高校生による進行のもと、県教育委員会職員も交えたグループ討議による意見交換を行います。
- 交流会で出た意見から県教育委員会への提案となる事項を各教育事務所がまとめ、その対応等について関係課で検討します。



<浦安市文化会館会場>



<姉崎高等学校会場>



<野田中央高等学校会場>



# 中学生・高校生との交流会 意見交換の概要・提案事項



< 県立銚子高等学校会場 >

< 成田西陵高等学校会場 >

「AI との共存 ～AI は人類を救えるか～」

(葛南教育事務所)

○AI について、使い方によってメリット・デメリットがあることなど知識を深めて十分に理解する必要がある。

○人と人とのコミュニケーションがあってこそその場面では、人が行うことが温かい交流となることを忘れてはならない。

「なぜ私達は学ぶのか? ～未来の自分を考える～」

(東葛飾教育事務所)

○自分の将来のために知識や技術を「学ぶ」と思っていたが、生きる、世界に目を向ける、など広い視野が必要なことがわかった。

○なぜ学ぶのかという難しい議題について、グループのみんなで考えることができたことが今日の一番の成果かもしれない。

「バリアフリーについて」

(南房総教育事務所)

○点字ブロック上に置かれた自転車の移動など、身近にできることから始めたい。

○体験学習などで、障害のある人や高齢者が困難や不安を感じることを体験して、健常者が普段あまり気にならないようなことが、実は大きな問題になることを知ることが大事だ。

「銚子市を活性化させるために、中高生としてできることについて」

(北総教育事務所)

○銚子の商店街を復興させるために中高生としてできることを見出し、商店街の代表者の方々と話し合いを持つ。

○生活しやすい環境が人を集めることにつながることから、私たち若者は何をすべきか考えていく。

「2020 年東京オリンピック・パラリンピックを通じた『おもてなし』」

(北総教育事務所)

○おもてなしをするために、英語をしっかりと勉強する必要がある。また、ジェスチャーや単語等を通して人に伝える学習が大切である。

○スポーツ以外の面からのオリンピック・パラリンピックについて学ぶことで、おもてなしに繋がるのではない。

「障害のある人もない人も生きやすい社会にしていくための工夫」

(東上総教育事務所)

○障害者差別解消法等の法律に関して

- ・このような法律があるのを知らない人が多いのではないか。

- ・この法律でどのような行為が差別に当たるのか、正確に国民に伝えていく必要があるのではない。



< 大多喜高等学校会場 >

< 交流会全体を通して、中学生・高校生から出された意見・提案 >

- ・学校の教育内容にこの交流会のようなことを取り入れてほしい。
- ・もっと多くの生徒に交流会に参加できる機会を設けてもらいたい。
- ・1 度だけの交流会ではなく回数を多く持つことに意味がある。 等

< この件についてのお問合せ >

企画管理部教育政策課 電話 043-223-4152